



- みんなであそぶプログラム
会期中毎日 [10:00-16:00] 大人と子ども
●▲■を使ったり、感じたりするプログラムです。
「●▲■をつむ」「●で▲、■で・・・」
「●▲■モビール」「●▲■のいえ」「●▲■を探せ」など
- あつまるあそぶプログラム
土日祝 [14:00-14:30] 30分前受付
「はるカム」など
- たべるあそぶプログラム
日曜日 [11:00-12:00] 30分前受付、抽選
「一▲●■」
カタチをテーマにした、
たべることをあそびにしたプログラムです。

◎詳しくは、館内の毎日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

愛知県児童総合センター

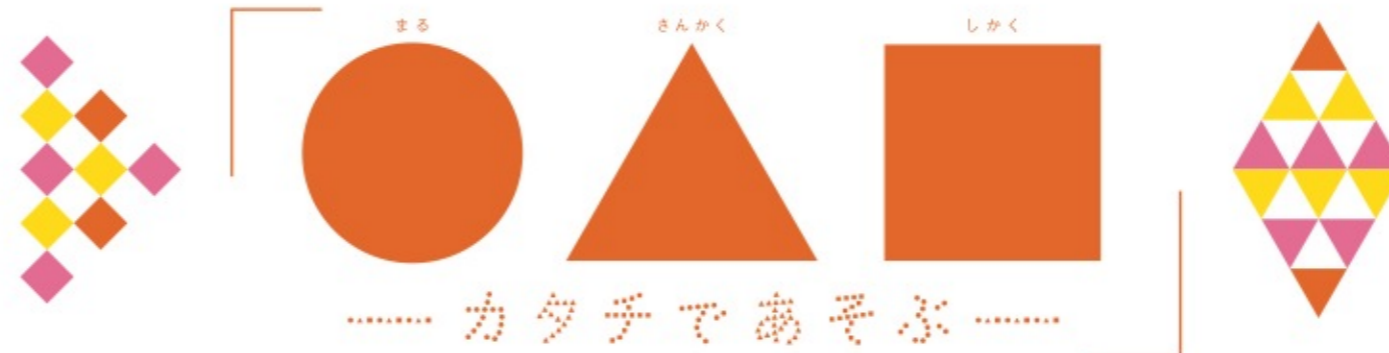
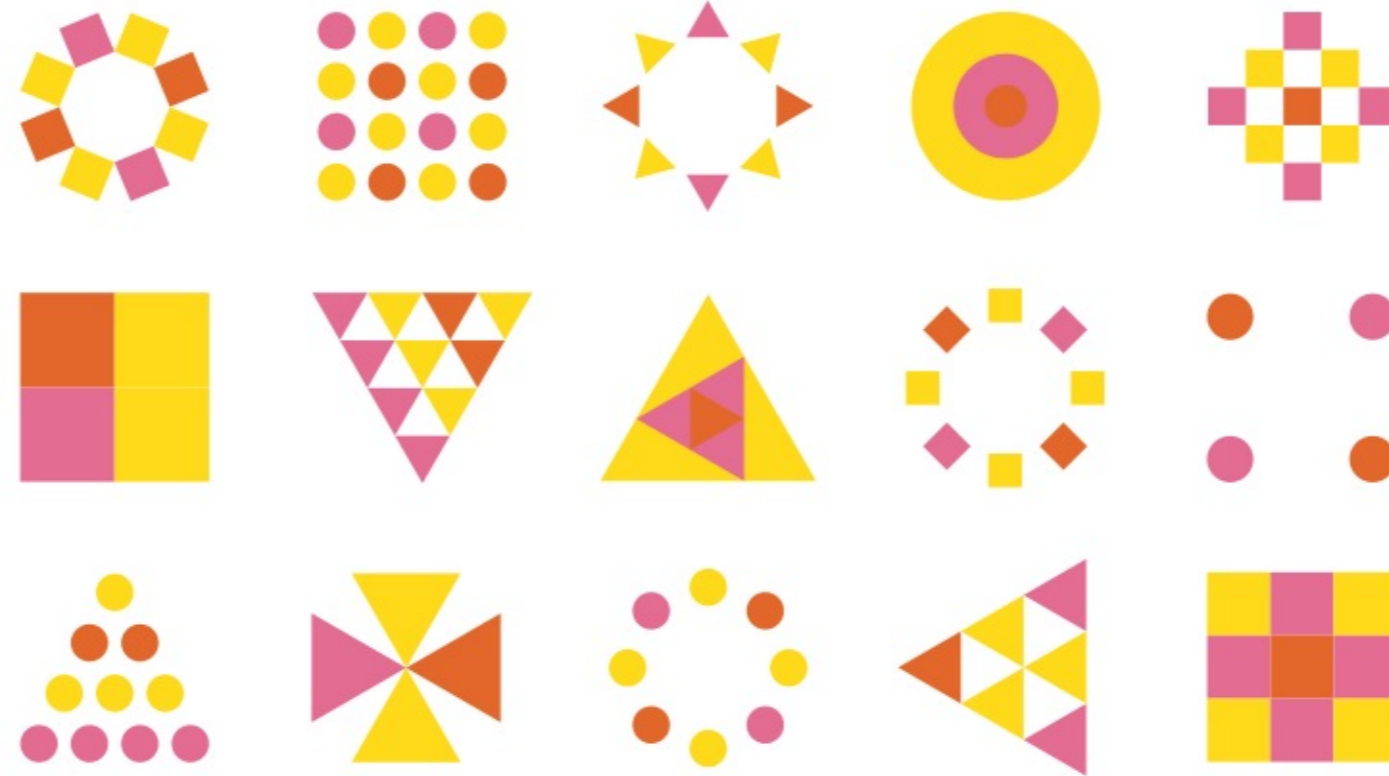


〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1
TEL 0561-63-1110
E-mail info@acc-aichi.org
http://www.acc-aichi.org/

開館時間 = 9:00 - 17:00
入場料 = 中学生以下無料、その他300円

3月の休館日 = 2, 9, 16日
4月の休館日 = 13, 20, 27日
5月の休館日 = 7, 11, 18, 25日
6月の休館日 = 1, 8, 15, 22, 29日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
機関で ... リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車
車で ... 東名高速・日産JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面まで(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



2015.3.21 | 土 | ... 4.12 | 日 | 愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

開催時間 ... 10:00 - 16:00 (開館は9:00から17:00) 入場料 ... 中学生以下無料、その他300円
主催 ... 愛知県児童総合センター(公益財団法人愛知公園協会)

- と▲と■。誰でもわかる、誰もが描ける、一番シンプルなカタチ。
「愛知県児童総合センターの建物は●、▲、■の3つのカタチでできている…」と建築家の一人は言っています。
センターだけではなく、世界中のいろいろなものを単純なカタチにしてみると
全てが●▲■になってしまいそうなほど、まわりを見渡すとあちらこちらに●▲■が見つかります。
家や自動車、電車や標識、木や花や山だって●▲■に置き換えることができるし、人の顔も3つのカタチでつくることができます。
●▲■でつくられたセンターのなかで、そのカタチにかこまれながら、
●▲■をついたり、見つけたり、3つのカタチで遊ぶプログラムが登場します。



子どもとおとな、ドキドキ発見!

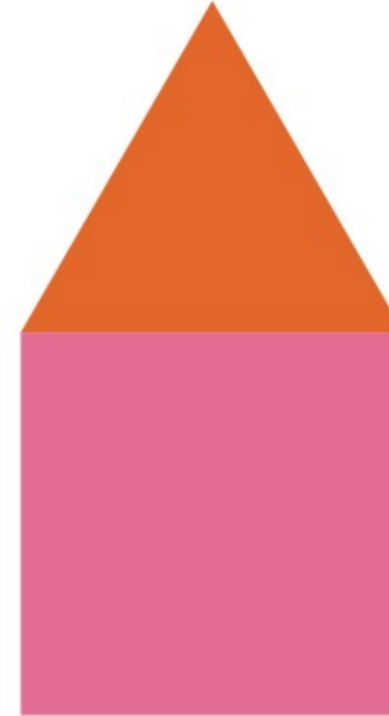
ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol. 19
2015 春

春季特別企画
●▲■ - 一かたちであそぶ -
お父さん応援プログラム
アナログカフェ
冬季特別企画
つなげる・つながる
子育てのおはなし 第19話
ACCののぞき穴
募集とお知らせ





お父さん応援プログラム 「アナログカフェ」

愛知県児童総合センターはお父さんの子育てを応援するプログラムを実施していますが、「アナログカフェ」もその中のひとつです。毎月第3日曜日にオープンし、カフェでメニューを選ぶように、さまざまなボードゲームやカードゲームをお父さんと子どもで楽しむことができます。

ボードゲームやカードゲームなどのアナログなゲームとしては、トランプ、UNO、オセロや将棋、人生ゲームなどがよく知られていますが、これらはほんの一部で、ドイツを中心にヨーロッパでは毎年数多くのゲームが発表されています。それらは、幼児が数分で遊べるものから、大人が2～3時間かけて遊ぶもの、年齢に関係なく勝つことができる偶然性のゲームから、記憶したり、だましたり、推理したり、とさまざまな特徴をもっています。

最近は携帯ゲーム機だけではなく、スマートフォンなどデジタル機器でのゲームが増えており、どうしてもモニターを見ながら遊ぶことになってしまいます。しかしボードゲームやカードゲームは人と人が向きあい、お互いの顔を見ながら遊ぶものなので、そこにコミュニケーションが生まれる良さがあります。また、遊ぶ人数や年齢、状況に応じてゲームを単純化したりハンデをつけたり…とアレンジできる良さもあります。

こういったコミュニケーションツールとしての良さを活かし、お父さんが子どもと同じ時間を過ごし、子育てを楽しむきっかけになればと、毎月「アナログカフェ」をオープンさせています。そして、お父さんには気に入ったゲームを見つけてもらい、お家ではお母さんも一緒に、楽しい時間をすごしてください。

アナログカフェ・人気のゲーム



年齢に関係なく勝敗が決まる「虹色のヘビ」



凍った海でサカナ釣り「カヤナック」

参加者の声



今回はじめて参加の永井さん親子。「海外のものなので新鮮ですし、TVゲームよりも、できるだけこういったみんなで遊べるゲームがいいですね」とお父さん。「どれもめっちゃ楽しい!」と友彩ちゃんは、いろいろなゲームを楽しんでくれたようです。



毎月のように遊びに来てくれる水野さん親子。今、一番好きなゲームは「ストリムス」。「数字がきれいにつながるとうれしい。最高」と健太くん。「初めて参加した時は、これほど長く遊びに来ることになるとは思わなかった」とお父さん。



動く迷路で宝探しをする「ラビリンス」

冬季特別企画



3回目となった「つながる・つなげる」をテーマにしたあそびでは、特別企画期間をめいっぱい使ったあそびの結果が、魅力的なあそびの空間を生みました。一つだけでは、一人だけでは、完成しないみんなでつくった大きなつながりの中で遊ぶことで、このあそびのテーマがさらに広がりました。



このあそびは平成26年度冬季特別企画として実施しました。

PICK UP



「つながる・つなげる」をテーマに名古屋芸術大学美術学部アートクリエイターコース(以下、名芸)の1年生が12月21日にセンターで新しいあそびのプログラムを行いました。名芸と連携してあそびを考えるのは今年で2回目ですが、初めて取り組む1年生の皆さんは9月から4ヶ月かけて試行錯誤しました。センタースタッフと名芸の皆さんがつながって一生懸命考えたあそびと思いが、遊んでいる子どもと大人笑顔につながって、それが私たちの喜びへとまたつながった、そんな特別プログラムとなりました。



つながるダンボール
1枚のダンボールをいろんなカタチに切って組み合わせてつなげます。



つながりジャンクション
土の粘土で低い道や高い道をつつてみんなでつなげていきます。



つながる迷路
道ゲージを使って窓ガラスに水性クレヨンで道を描いてつなげていきます。



つながるスゴロク
みんなで考えたスゴロクの「指令」でつくった大きなスゴロクで遊びます。



つなぎ
そば粉に「つなぎ」を入れてこねて伸ばします。



おしゃべりパイプ
いろんなところへ延びるパイプでおしゃべりして声をつなげます。



丸太の皮を剥いで割るっ! ※木工作家 駒田美入さんによるプログラム。
丸太の皮を剥ぎ、はだかの丸太を縦に割ります。みんなの丸太をつなげて飾ります。ちょっと変わったつなぎり方をした丸太が新しい姿を見せてくれます。



つながりオニ
鬼につかまらないように、近くの人と手をつなぎながら逃げます。



つながるアニメ実験室・コマドリ/フィルム
タブレット機器を使った「コマドリ」アニメーションや16mmフィルムに直接模様をつけるカメラレスアニメーションに挑戦します。



タブレット機器を使った「コマドリ」アニメーションや16mmフィルムに直接模様をつけるカメラレスアニメーションに挑戦します。



つながる手と手
手をつないだら温かくなっていく色。みんなの色で輝くツリーを作りました。



世界をデザイン!
クロマキーを使って「雪の村」の写真に入り「クリスマス」を描きました。



カオマゼマゼ
「目」「鼻」「口」をそれぞれ描いておもしろい顔をつくります。このあそびは特別企画期間中もいました。

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第19話

ふつうということ

お母さんがたと話しているとよく、「ふつうに育ててくればいんです」と言われます。仕事柄、いわゆる少数派の子どもたちやお母さんとお会いすることも多いのですが、ふつうってなんだらうとよく考えてしまいます。小学校で仕事をしていても、もしこの学校にエジソンのような天才がいたとして、その子を十分受け入れて、育てていくことが私たちにできるだろうか、私たちはこの子の個性をなくさせているのではないかと思うことがあります。

先日、若いアーティストさんたちの展示会に行くことができました。1人1人が、とても個人的な見方で、周りの世界を見ていて、他の誰でもない、世界中でその人しかできない表現をしようとしておられることにとても感動しました。とともに、この方たちの中に、もしかしら子ども時代、周りに理解されなくて

しんどい思いをされたかたがおられるのではないかしらと、失礼ながら思っていました。きっと彼らの個性を喜び、大事に思ってくださった方が周りにいたのでしょう。

ノーベル賞に輝いた青色ダイオードの研究も、なかなかうまくできなくて多くの研究者があきらめても見放しても続けられた、「ふつう」ではない視点や努力の成果です。

私たちは往々にして「ふつう」であることに安心し、子どもたちにもそれを望みます。けれど、子どもたちは、「ふつう」の私たちを超えて大きくなっていく存在です。子どもたちの個性を受け入れ、喜び、大切に伸ばしながら、大人になったときに周りの人たちにその個性を表現できるように、世の中で生きる約束事ややり方を付け加えていくと考えると、いけたらと思います。



発見ゾーン 「ロボットシアター」



30分ごとににぎやかな演奏が聞こえてくるのはロボットシアター。楽しげなロボットたちは昭和45年の大阪万国博覧会で漫画家・手塚治虫氏プロデュースのフジパンロボット館の中で生まれ、世界中の子どもたちに愛されました。その後、(株)フジパンから愛知青少年公園へ、そしてこの愛知県児童総合センターへとやってきたのです。ここで新しくつくられたアームロボットF.R.I.E.N.Dを中心に、ロボット館の中では違う

場所にいたロボットたちも新たに力を合わせて、長い年月が経った今日も元気に歌っています。そのロボットシアターを三世代揃って見ていたのは小宮さん一家。いつもこのACCレターを見てあそびに来るのを楽しみにしてくださっているそうです。おじいちゃんに抱かれていた奥くんが頼もしく大きくなっていく、そんな未来にまでもロボットたちもずっと元気に歌っていますように。

募集とお知らせ

トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが「一緒に」楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

3/4(水) 14:30～15:00 … えのくであそび

3/11(水) 14:30～15:00 … かみであそび

3/18(水) 14:30～15:00 … つみきであそび

対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親

定員：15組程度 参加費：無料

(大人は、児童総合センター入場料が必要となります)

受付：プログラム開始30分前から1Fインフォメーションにて先着順

※春休み中はプログラムをお休みします。日程・詳細はHPをご確認ください。

移動児童館「うごく土のまち」

メディアであそび! 「ビュートレス」

トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが「一緒に」楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

3/4(水) 14:30～15:00 … えのくであそび

3/11(水) 14:30～15:00 … かみであそび

3/18(水) 14:30～15:00 … つみきであそび

対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親

定員：15組程度 参加費：無料

(大人は、児童総合センター入場料が必要となります)

受付：プログラム開始30分前から1Fインフォメーションにて先着順

※春休み中はプログラムをお休みします。日程・詳細はHPをご確認ください。

移動児童館「うごく土のまち」

メディアであそび! 「ビュートレス」

※平成27年度の案内と募集は県内市町村の児童福祉担当を通じて4月頃お知らせ予定です。

「メディアであそび!」in 海南こどもの国

愛知県児童総合センターはどこにもない、新しい、おもしろい遊びを開発するため、全国から「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム 汗かくメディア」と題して募集、選出し公開展示をおこなってきました。過去の受賞作品の中から2008年「数の顔写真」と2011年「ビュートレス」を海南こどもの国で行います。みなさんぜひお越し下さい。

対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親

定員：15組程度 参加費：無料

(大人は、児童総合センター入場料が必要となります)

受付：プログラム開始30分前から1Fインフォメーションにて先着順

※春休み中はプログラムをお休みします。日程・詳細はHPをご確認ください。

移動児童館「うごく土のまち」

メディアであそび! 「ビュートレス」

※平成27年度の案内と募集は県内市町村の児童福祉担当を通じて4月頃お知らせ予定です。

移動児童館「うごく土のまち」

メディアであそび! 「ビュートレス」

※平成27年度の案内と募集は県内市町村の児童福祉担当を通じて4月頃お知らせ予定です。

※プログラムは予告なく変更する場合があります。詳しくはHPをご確認ください。